

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

周防灘さんさんの家

グループの名称

周防灘ゼロエネ倶楽部

直近採択グループ番号

06-0561-0732

(グループ代表者)

代表者名

長尾 栄一

代表者印

代表者所属先

株式会社長尾材木店

代表者所在地

福岡県北九州市門司区大里東口3-9

代表者電話番号

093-381-0879

(グループ事務局)

事務局事業者名

ヤマエ久野株式会社 北九州支店

事務局担当者名

泉 宏幸

印

事務局郵便番号

801-0841

事務局所在地

福岡県北九州市門司区西海岸三丁目19番3号

事務局電話番号

093-331-3737

事務局FAX

093-331-3538

事務局担当者E-mail

h.izumi@yamaehisano.co.jp

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世帯同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		28	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		8	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		31	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		高度省エネ型	認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		4	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸	
						上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸	
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸	
						上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		1	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		4	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		2	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		7	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		0	棟			
					0	m ²			
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		0	棟			
					0	m ²			
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	変注確定案件>施主と詰め段階の案件>未経験工務店の案件>事務局受付日の順で配分。紛糾する際は会合、セミナー参加店を優先した上で、最終的には事務局の裁量で振分決定する。								
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	37	戸	交付申請戸数	17	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	16	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	8	戸	交付申請戸数	5	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	5	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	m ²	交付申請床面積	0	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 周防灘さんさんの家	(地域型住宅供給対象地域) 福岡県、山口県、大分県、佐賀県の一部、その他の近隣市町村
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 周防灘ゼロエネ倶楽部	(結成年) 2012年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0561-0732	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	周防灘地区は一年を通じて比較的穏やかな気候に恵まれている。建築に於いては在来工法を守り、徒弟を取り、手加工に拘る大工層も多数存在する。本GPは地域伝承文化を重んじ、その考え方や技法を重用すると共に、耐震性やゼロエネ等の現代的な手法を取り入れて、高い省エネ性、デザイン性を有した在来工の完成形を追求することを第一義とする。 また、全ての会員は良質な九州産合法木材を多用することで、産地から消費者までを結ぶ案内人としての役目を担いつつ、一連の地域経済への貢献に寄与することに尽力する。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	台風、地震、降雪、白蟻に対応した策を講じる。台風、地震、降雪に関しては耐力面材仕様を推奨し、その壁倍率は2.5倍以上とする。また、耐震等級は長寿命型については等級2必須。高度省エネ型に於いては任意ながら推奨事項とする。防漏防蟻処理については塗布、散布、注入、床下換気部材設置等の手法は問わない。その他、機能・性能・外観に優れた工法・技法については例年通り会合時に事例を紹介する。 高効率給湯器(エコキュート、エコジョーズエネファーム等)の設置は必須とし、省エネルギーの性能向上を図る。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	外観上の共通した仕様は定めがないが、各社和風のパンパンな要素・利点は取り入れることをGPの共通認識としている。高温多湿な気候に配慮した、四季を通じての風や光の取り込みについては研究を惜しまない。また、通気や断熱に効果的な工法を推奨する。	◎
④①～③の背景	GP内でグリーン化事業に関する理解度や実践経験に益々格差が出てきている。主に未経験工務店を対象とした長期優良住宅講座及びレベルアップを目指し2020年を見据えたゼロエネ講座を毎年開催しているが、新規参加店の参加が減少している。研修後、独自の地域型に相応しい家造りを確立した経験者も多々あり、今期は先例を踏まえて未経験工務店に対する更に手厚い支援を用意し、理解と実践に繋げる。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	特になし。	○
イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 土台・桁・梁・柱角に105角以上を使用する。その他の仕様については様式3-3中、4.オ、a.①の共通ルールに記載。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 流通の鍵である問屋・販売店で定期会合し、メーカー選定やコスト削減を検討する。平成28年度基準を満たす各種建材を施工業者へ随時情報提供し、商品によっては共通仕入に因る利益還元や性能向上、価格安定を図る。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 木材については産地限定。耐震対策の標準仕様とH28年度省エネ基準を満たす各種建材(断熱材・開口部・各種設備機器)を選定・統一し、取り纏めたものを標準仕様として策定する。	◎
②-1 建材・資材調達のコスト削減	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 会員全員が期間を通じての安定供給、安定購入、価格の安定化を認識し、欠品や急騰、急落・第三者購入なきよう、事務局が案件毎に精査する。	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 特に事務局と最終出荷者であるプレカット工場とで案件情報を共有フォルダで管理。受発注や情報管理業務を共有し相互確認することで事務処理のスピード化と精度向上を図る。	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 委員会は設置していないが、取扱いアイテムの統一化と数量確保を標準化する方向で会員に周知している。	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: アイテムの絞込み、全会員への公平な利益享受、早期の相場情報提供、プレカット枠確保等を担い、結果報告や指導を主導的に行う。	○
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 省エネ技術講習会に於いて提示された施工内容をGPの標準施工とする。未経験工務店や若手会員に対しては今期も集中講座を数回開催し周知徹底を図る。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 設計段階で設計事務所の精査を必須とする。外皮・一次エネルギーについてはメーカー又は設計担当者が任を負う。構造躯体計算はプレカット工場のCAD計算をデータ等を元に検査する。会にて専用チェックシートを作成し、施工業者はこれを基に都度確認。設計図書と共に管理し事務局へ提出すること。事務局も管理保管する。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 高品質な地域型住宅を供給するグループであることを施主様へ訴求出来るように、標準仕様書の作成を検討する。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 高品質な地域型住宅を供給するグループであることを施主様へ訴求出来るように、標準仕様書の作成を検討する。	○
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 変形労働時間制の導入推奨。特に繁忙期の休日出勤に対しては振休取得を習慣化させる。	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 定年後のエルダー契約推奨。若手に対しては技術職・営業職の区別のない給与体系の改善をGP各社へ促す。	○
③ 社会保険への加入	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: GP各社の判断に委ねる。	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: GP各店での、安全衛生管理委員会の実施、現場搬入管理マニュアルの作成、定期検診の励行、防寒・避暑対策等を取り組んで頂く。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	長期優良住宅・認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅についてもBELS認証制度の利用を推奨する。対象住宅の平成25年度省エネ基準の適合性や高い省エネ性能を有していることを第三者機関へ委ねることで信頼性を高める。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 周防灘さんさんの家	(地域型住宅供給対象地域) 福岡県、山口県、大分県、佐賀県の一部、その他の近隣市町村
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 周防灘ゼロエネ倶楽部	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0561-0732	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄	
a	① 住宅蓄積履歴情報の	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: リビングベル、住宅あんしん保証等のサービス活用と点検の実施。但し、施工業者が独自の方法で履歴管理を行っている場合は加入必須とはしない。	◎
		①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 原則第三者機関のサービス(リビングベル等)を活用することとするが、施工業者が独自の方法で情報管理を行っている場合は加入を必要としない。	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 履歴情報については、その確認方法について事務局へ報告する義務を負う。また、チェックシートに基づき文書で報告するものとする。	◎
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持保全計画書に基づき、築後1.2.3.5.10.20年毎の点検を実施。第三者機関を利用する場合は施工業者への事前連絡サービスを活用し、点検の時期や期間は施工業者が決めとする。	◎
		②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工業者個別対応とする。但し、大規模な補修については事務局への報告を義務化する。	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工業者には点検後の報告を義務付ける。	◎
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 建材メーカー主催セミナーへの案内。	◎
		③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: メーカー・流通業者関連のイベントへの参画。	○
		③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: メーカー・流通業者関連のイベントへの参加。適宜実施。	◎
	④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が主体となり、設計業者、施工業者と連携し問題点を洗い出し改善案を協議する。会合時の報告を義務化する。	○	
⑤ その他の維持管理の手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	○		
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅あんしん保証等への入会推奨(任意)。代替施工業者は住あん等と協議の上紹介。倒産廃業した当該事業者や関係者等が独自に後継を指名、段取りしている場合はこの限りではない。	○	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 勉強会・セミナー時に合わせて、過去の事例紹介や対策について実施する。	◎	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	特に未経験工務店に対しての上記記載に対する考え方・取組み方法を個別に指導することにより、グループ全体の一定水準を確保する。		○	

エ. グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: G化事業以外の各種会合の案内、経験工務店との面談及びアドバイスの励行等を継続実施。	◎
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 申請前、加工前の指定材等級等の確認。	◎
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: メーカー見積書・納品書の事務局への提出義務化。	◎
	③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局単独での調査。需給状況については現在問題なし。	◎
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅省エネルギー技術講習会、ZEH研修会等の紹介や主催。	◎
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 2020年に向けた設計・流通・施工と連携した標準仕様化。未経験工務店に対するサポート体制の整備。	◎
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 21 今年度の参加目標人数 10	◎
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 4 今年度の参加目標人数 5	◎
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 会合時に同講習会を案内。ネットでの開催日確認と参加を促す。	◎
c	① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 通気断熱WB工法やテクノストラクチャー工法の紹介と研修会実施	◎
	② 新たな技術等の開発	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 周防灘さんさんの家	(地域型住宅供給対象地域) 福岡県、山口県、大分県、佐賀県の一部、その他の近隣市町村																								
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 周防灘ゼロエネ倶楽部	(結成年) 2012 年																								
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0561-0732																									
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。																										
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与																										
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄																								
a																										
①	地域材利用に関する 共通 ルール(必須)	<p>主要構造材には九州産杉、桧合法木材を主に使用。特に鹿児島認証産材を桁・梁・柱角等に使用する場合は「地域材加算」枠を得た場合に優先振分する。又、流通面・強度面・価格面を考慮して桁・梁に関しては米松KD材、混合集成材の使用を認める。土台角は球磨川流域産桧材を推奨。KD.Gは問わない。尚、納期や防蟻処理など支障を来す場合は他の九州産を認める。柱角は鹿児島・大分・熊本各県産とし、KD.AD材に限定する。集成材はこれを認めない。大引、母屋、棟木、隅木、谷木、小屋束、火打梁、火打土台も九州産杉、桧を基本とする。KD.Gを問わない。強度や慣習に応じてその他の木材を使用する場合は事前に事務局の承認を得ることを事前に、合法木材のみ許可する。端柄材は垂木、間柱、筋交、根太、野縁について杉、桧材に限定。KD.Gは問わないが九州産とする。但し、強度を必要とする場合は事務局への通知を前提条件に米松の使用を認める。又、ネダレス仕様の場合は根太は対象外とする。</p>	○																							
②	地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上	○																							
③	標準的な地域材の使用部位(必須)	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">主要構造材</td> <td>土台:</td> <td><input type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>柱:</td> <td><input type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等:</td> <td><input type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等:</td> <td><input type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>桢材、廻縁等:</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等:</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している	柱:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している	造作材	桢材、廻縁等:	<input checked="" type="checkbox"/> 使用していない	<input type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等:	<input checked="" type="checkbox"/> 使用していない	<input type="checkbox"/> 使用している	○
主要構造材	土台:	<input type="checkbox"/> 使用していない		<input checked="" type="checkbox"/> 使用している																						
	柱:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している																							
	梁・桁等の横架材等:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している																							
羽柄材	間柱、根太、垂木等:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している																							
造作材	桢材、廻縁等:	<input checked="" type="checkbox"/> 使用していない	<input type="checkbox"/> 使用している																							
板材	壁板、床板等:	<input checked="" type="checkbox"/> 使用していない	<input type="checkbox"/> 使用している																							
④	地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	<p>原木業者→製材所→プレカット工場(一部流通業者→プレカット工場)→現場または施工業者倉庫。以上構造材の流通経路についてはGP外業者を介さない。端柄材についても同様ながら、プレカット加工を伴わない案件に関しては流通業者からの直接現場搬入でも可。</p>																								
b																										
①-1	地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局主導で木材関連業者(製材・流通・プレカット)にヒアリングを実施し、在庫量や価格変動に対応する。	◎																							
①-2	地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 上記在庫把握の仕組同様に極端な価格騰落を回避する。	◎																							
②	グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 事務局にて適宜原木相場、製品相場の確認とプレカット工場保有案件数の確認を行い、会員へ情報提供を行う	◎																							
c																										
①-1	量の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 和のテイスト取り入れの中でも最重要アイテムとして使用を推奨	◎																							
①-2	和瓦の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 太陽光パネル設置を前提に軽量・堅牢な和瓦を会として推奨	○																							
①-3	襖の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 和室の設置と共に会として推奨	○																							
①-4	障子の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 和室の設置と共に会として推奨	○																							
②-1	その他地域の伝統的な素材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 和紙クロス、珪藻土壁、天窓、窓、灯り取り窓、雪見障子、大川木家具等の紹介	◎																							
②-2	その他地域の伝統的な意匠の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 一間軒、濡縁、犬走りを推奨。現代風なアレンジを加味し施満足度を高める。	◎																							
d																										
①	地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 会合を通じた優良施工例の紹介。チルチン人等、専門誌の紹介	◎																							
②	地域の住まい方の継承につながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 若手業者に対しては集中講座を通じた知識向上を図る。また地方で開催されるイベントへの参加や自治体との対話も促す。	○																							
③	地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 各自自治体に対して住まい方継承と共に問題解決に取り組む。	○																							
④	和の住まいの要素を取入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 和のパッシブな要素(陽光の取り込み・陰翳・和らぎ・空気の流れ・動線・自然との繋がりと等)と防犯面での折り合いを付けつつGPとして最善を目指す	○																							
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	今年こそ日田市豆田地区、門司港レトロ地区、博多町屋、熊本市上の裏通り、萩市、津和野町などの景観・街並みを視察する	○																							
カ. その他																										
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄																								
東日本大震災の復興に資する取組	特になし	○																								
平成28年熊本地震の復興に資する取組	事務局主催展示会時に義捐金募集、継続	○																								

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 周防灘さんさんの家	(地域型住宅供給対象地域) 福岡県、山口県、大分県、佐賀県の一部、その他の近隣市町村
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 周防灘ゼロエネ倶楽部	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0561-0732	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

認定低炭素住宅、ゼロエネ住宅、性能向上に関する性能・特徴

【基本的な考え方】

認定低炭素住宅、及び、ゼロエネルギー住宅ともに、H28年度省エネ基準における基準一次エネルギー消費量の20%以上の性能値を目標とし、断熱等性能等級4相当、一次エネルギー消費量等級5相当の仕様とする

※周防灘さんさんの家 性能と特徴(イメージ)

太陽光発電

・カーポート太陽光設備(単独&屋根併設)及びEV用コンセント設置推奨

[パッシブデザインの採用]
軒の出、窓高調整による日射のコントロール、等

外皮の高断熱化

・UA値:0.8以下目標(低炭・性能向上)

・UA値:0.6以下目標(ゼロエネ)

・ηA値:2.2以下目標

高効率給湯設備、高効率エアコン

高効率換気設備、LED照明

伝統的なデザイン、和の住まいの要素、和のテイストの折り込み

開口部:半樹脂サッシ+Loe-E複層ガラス(推奨)

主要構造材に九州産木材を主に使用

c. 優良建築物型

該当案件、業者なし

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。